

ナヴァラトゥリーのプージャの祭壇とささげ物

ナヴァラトゥリーの祝祭の間、至高なる女神クンドリニー・シャクティであるデーヴィーが、崇拝すなわちプージャによってたたえられます。今年、シュリー・ムクターナンダ・アーシュラムでは、ブラーミンの司祭がヤジャマンの夫妻に補佐されて、デーヴィーの主要な三つの姿——マハードウルガー、マハーラクシュミー、マハーサラスワティー——にプージャを行います。一つ一つのささげ物や儀式の要素は、独特の象徴的意味を持っています。

主要なムールティ

シュリー・ガネーシュ——英知と知性の神、吉兆な始まりの神、そして障害を取り除く者——のムールティすなわち彫像は、吉兆なプージャへの彼の祝福を確かなものにするために、伝統的に最初に崇拝されます。

ブラーミンの司祭とヤジャマンの夫妻が、食物と滋養の女神、つまりあらゆる生命の維持者であるシュリー・アンナプールナーのムールティにささげ物をします。この姿のデーヴィーはプージャの間、女神の三つの主要な姿すべてを代表しています。開始のプージャの前に、ブラーミンの司祭はプラーナ・プラティシュターという、プラーナ・シャクティすなわち生命力を彫像に吹き込む儀式を行います。ひとたびこれが行われると、ムールティはデーヴィーのシャクティの生きた具現と見なされます。

ヤジャマンの夫妻

プージャの伝統として、ヤジャマンすなわちホストの夫妻は、ブラーミンの司祭を儀式の間中補佐します。夫妻は至高なる存在の一体性とその大いなる力を表しています。

プージャーの祭壇

幾つかの真ちゅう、土、あるいは銅でできたカラシャと呼ばれる大きな水がめが、プージャーの間に用いられます。一番大きなものは、デーヴィーのムールティを載せたトレイの真下に置かれ、彼女の玉座としての役割を果たします。小さいカラシャはブラーミンの司祭とホスト夫妻のそばに置かれます。それらには水が満たされ、プージャーの間中、ささげ物に使われます。カラシャはデーヴィーの豊かさと吉兆を表し、また、原初の子宮、万物の源を象徴しています。カラシャの水は、インドの聖なる三つの川——ガンガー、ヤムナー、サラスワティー——の浄化の特質を表しています。

デーヴィーはマンゴーの葉で装飾された壮麗な天蓋の下に座っています。マンゴーの葉は愛の神であるカーマに関連付けられ、女神自身の創造物と創造の力への喜びを表しています。マンゴーの甘さは私たちに、デーヴィーのアーナンダ、すなわち彼女の至福と喜びを思い起こさせます。

カラシャの下には、土で満たされ七つの異なる穀物が植えられたトレイがあります。これらの穀物はナヴァラトウリーの9日間の間に芽を出し成長していきます。このトレイは、デーヴィーの滋養の資質をたたえ、収穫を表すものです。

火がともされた燭台(しょくだい)は、神聖な知識の光で無知の暗闇を取り除く女神の力を象徴しています。燭台の炎は大いなる心の光とプージャーの目撃者を表しています。

ささげ物

デーヴィーへの数多くのささげ物は、君主としての彼女を和ませます。そして、ムールティは今や生きていると見なされているので、それらはデーヴィーの五感に訴えるのです。

それらのささげ物の幾つかは食物の形を取ります。米、ビンロウの実、黄色いカラシナの種、果物、ターメリック、菓子、そしてココナッツなどです。それら食物のささげ物は、創造物を維持し育み、そして味覚を満足させる地球の豊かさを表しています。

もう一つの滋養のささげものはパンチャムリットです。それは神のネクターと考えられ、パンチャは「五つ」、アムリットは「不死のネクター」の意味です。これは、それぞれが象徴的な意味を持つおいしいような五つの材料の調合です。牛乳は純粋性、凝乳は豊かさ、蜂蜜は一体性と滑らかな発話、砂糖は大いなる自己の至福、そしてギーは勝利と知識を表します。

その他のささげ物には、芳しい花——特にバラの花、バラの花びら、花輪——や香油、ビャクダンのペーストや香などがあります。デーヴィーは鋭い嗅覚を持っており、心地良い香りに引き寄せられると言われています。花は私たちの生来の善良さを表し、人の内側で開花した優れた資質は何であれ、それをささげることが伝統です。

視覚と触覚は、宝石、化粧品、サリー、硬貨をささげることと呼び起こされます。もう一つの伝統的なささげ物として、クムクムというシャクティと吉兆を表す赤い粉があります。クムクムはしばしば、参加者の眉間に小さな点として付けられます。眉間はグルの内なる座であり、神聖な知覚の中心であるアジニャー・チャクラの場所です。それらの気高い贈り物を通して、デーヴィーは美と豊かさの存在としてたたえられるのです。

プージャーの間に鳴らすベルは、聴覚を刺激し、女神の存在を呼び起こします。このベルがデーヴィーに私たちの崇拝の意図を知らせます。その音は原初の音、オームを表し、プージャーが行われる空間を浄化します。ヤジャマンの夫妻がベルを鳴らして、儀式の重要な瞬間を知らせます。プージャーを始める前、ムールティを沐浴(もくよく)させている時、アーラティの儀式の間、神聖なささげ物をしている間などです。ベルの本体はアナンタすなわち無限を、

その舌はマハーサラスワティーを、その柄はプラーナ・シャクティすなわち生命力を表しています。

プージャーでささげられる最も重要なものは、デーヴィーを敬い称賛するマントラと祈りです。シャイヴィズムの教典では、マントラの響きはデーヴィーとすべての神々の根本的な性質であると教えています。マントラを朗唱することにより、私たちはあらゆるマントラの振動の中心——万物を創造し、維持し、破壊する原初の振動すなわちスパンダー——を呼び起こします。そして私たちは、皆の大いなる心に内在するデーヴィーを喜ばせるのです。



© 2019 SYDA Foundation®.著作権所有。